

2019年5月28日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則  
(JASDAQ・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
TEL 03-6311-6641

**株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル**  
**ミャンマー国ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズⅡ**  
**施工監理業務契約調印式**

2019年5月22日(水)、ミャンマー国首都ネピドーのミャンマー国鉄本社において、『ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズⅡ施工監理業務』の契約調印式が行われました。

本業務は、タウンゲー～マンダレー間(約350km)を対象に土木工事、信号通信工事、電力工事、車両調達等を含む鉄道の改修・近代化を行うもので、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:米澤 栄二)は、施工監理のコンサルティングサービスを提供する共同事業体\*の代表を務めます(約100ヵ月間)。フェーズⅠ(ヤンゴン～タウンゲー間:約270キロ)の施工監理業務(2016年12月契約締結)に引き続いての受注となります。

ヤンゴン・マンダレー鉄道(約620km)は、同国の経済動脈としての役割を果たしており、同国最大の商業都市ヤンゴン、首都ネピドー、第二の商業都市であるマンダレーを結ぶ重要な幹線鉄道です。しかし、路線の多くが英国植民地時代に建設されていることから、橋梁の老朽化・劣化により列車速度が上がらず、また軌道狂い(線路のゆがみ)による列車事故が発生するなど様々な課題がありました。

本事業は、ヤンゴン・マンダレー間の鉄道改良と近代化を進めることにより、旅客・貨物の安全性や輸送能力を向上させ、同国の経済発展に寄与することを目的として実施するものです。2018年11月に起工式が行われたフェーズⅠ(ヤンゴン・タウンゲー間)に続き、全区間の早期改修完了を目標に、フェーズⅡ(タウンゲー・マンダレー間)で改修事業を進め、全事業終了後には現在14時間を要しているヤンゴン・マンダレー間の乗車時間が約8時間に短縮される予定です。

\*株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、日本コンサルタンツ株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、日本工営株式会社、株式会社トーニチコンサルタント、Oriental Consultants Japan Co., Ltd.



調印式

(右) バー・ミン ミャンマー国鉄総裁  
 (左) ユインヨンラッタナクル ナレントーン  
 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 軌道交通技術第一部副部長



ミャンマー国鉄幹部との記念写真

(左から)  
 長澤一秀 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 技術本部理事  
 ユインヨンラッタナクル ナレントーン  
 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 軌道交通技術第一部副部長  
 バー・ミン ミャンマー国鉄総裁  
 アン・ウィン ミャンマー国鉄副総裁  
 マウン・マウン・テン ミャンマー国鉄局長  
 チョウ・チョウ・ミョウ ミャンマー国鉄局長

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
 TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020  
 URL: <https://ocglobal.jp/ja/>  
 広報・渉外室 菅原史緒